

紫波町図書館のデザインに関わった3人が自由にトークします。

トークゲスト



佐藤 直樹 (さとう なおき) ペインター/デザイナー

多摩美術大学教授。1961年、東京生まれ。北海道教育大学卒業。美学校菊畑茂久馬絵画教場修了。
1998年、アジール・デザイン（現アジール）設立。ワイアード日本版アートディレクター、
3331アーツ千代田デザインディレクターなどを務める。
国内外で数々の賞を受賞。オガールデザイン会議メンバー。
紫波町図書館のロゴマーク、サインなど、
オガールプロジェクト全体のさまざまなデザイン監修を行う。



小田中 耕一 (おだなか こういち) 型染職人

1950年、紫波町生まれ、在住。盛岡工業高等学校卒業後、
1969年、人間国宝・芹沢銈介の芹沢染紙研究所に入所。
1972年、日本民芸館展入選。
1978年、紫波町に戻り、家業の染物屋を継承しながら、型染の研究創作を続ける。
雑誌や書籍の装丁、手仕事フォーラムの手仕事カレンダーなどに、型染が採用される。
紫波町図書館バッグ、しおり（配布終了）、書皮のモチーフとなる型染を制作した。



五日市 美子 (いつかいち よしこ) 衣装作家

盛岡市生まれ。岩手大学で染織を学ぶ。
卒業後、大学の同級生と服作りを開始。1999年より「工房蠟」の活動を開始。
洋服制作・販売、広告写真用の衣装制作を中心に活動。
2012年、盛岡市材木町 käsi-friendly にて展示受注会形式での販売開始。
受注制作のかたわら、飲食店や企業などの仕事着のデザイン・制作など、日々、布に纏わる制作をしている。
紫波町図書館のユニフォームを担当した。

コーディネーター



李明喜 (りみんひ) デザイナー/ディレクター

アカデミック・リソース・ガイド取締役 CDO。明治学院大学文学部芸術学科非常勤講師。
1966年生まれ。桑沢デザイン研究所卒業。
1998年、デザインチーム・matt を立ち上げ、
商業&公共施設、アートスペース等のデザインやキュレーション業務を行う。
2014年より、アカデミック・リソース・ガイド株式会社デザイナーとして、
須賀川市、別府市、西ノ島町などで、新しい文化施設づくりや地域のデザインにあたっている。
雑誌「LRG 第20号総特集 図書館のデザイン、公共のデザイン」の企画・執筆・ファシリテーションを行った。

2017年12月17日(日) 13時30分 から 15時 申込不要 入場無料

紫波町情報交流館 市民交流ステージ オガールプラザ1階 / 紫波町図書館 019-671-3746